

特集

- ① イベント企画ガイド
- ② 稼げるNPOが石川を変える～ちゃんと稼ぐNPOになって、石川で”志金”を循環させよう～

● 私たち、こんな活動やってます

- ・チームリアルこまつ
- ・金沢マチナカ大学／タテマチ大学

● ちょっと気になる、いしかわのNPO

NPO法人 北陸ライフケアクラスター研究会

● インフォメーション

法人住民税(均等割)の減免申請

● 非営利団体のためのQ&A

『教えて、i-ねっとのあおみさん』⑦

● 人 -hito-

東谷 康代さん

つな
がる
ひろ
がる
ふれ
あう



あいむ

石川県NPO活動支援センター
URL <http://www.ishikawa-npo.jp>

イベント企画ガイド

企画の実現はNPOの最も大切な活動の一つです。団体の存在意義を明確に示すものでもあります。順序よく効率的に、そして確実に企画を成功へ導きましょう。

企画の誕生

1年～半年前

企画の確定

1年～4ヵ月前

当日を充実させるための準備

3ヵ月～3週間前

直線準備・最終確認

2週間～3日前

本番

終了後 事後処理

企画づくり

●5W2Hを使い、具体的に作る。1人で煮詰めるより、多くのスタッフ間でよく擦り合わせて、思いを一致・共有する。

5W2H

Why

・何のために(企画趣旨と、そのイベントで達成したい目標を明確にする)

What・How

・何をどうする(イベントの内容と形式を決める)

When・Where・Who

・いつごろ(日時)、どこで(会場)、誰が(ゲストや講師)

How much

・いくらで(運営費はどうか、予算はいくら)

日時・会場

●多くの会場は予約開始が6ヵ月～3ヵ月前から。企画が4ヵ月前までに固まっていれば候補会場を2～3ヵ所挙げておけば、希望の会場を押さえやすい。

●イベント趣旨や内容に適した会場を選ぶ。

ゲスト

●ゲストスケジュールは半年前くらいに交渉し、スケジュールを押さえられると安心。

●担当を決めて、作業分担で準備を進める。

告知戦略

●チラシ作成には、インターネット上で「テンプレート 無料」などの言葉で検索をすると、ソフトの提供会社が提供する無料のチラシデザインが見つかる。

●ブログやWEBサイトにイベントの告知記事を掲載すると、チラシが出来ていない段階でも「詳しくはここを見て」と言えるので便利。twitterやfacebookからリンクさせるなどしてソーシャルネットワークシステム(SNS)の活用も。

告知

●チラシは配布先や枚数を把握しながら配布する。
●メール案内、チラシ配布、WEB告知それぞれの反応を見て、効果の高そうなものに力を入れる。
●新聞社等にはイベントの5週間～1ヵ月前くらいに連絡する。

ゲストと詳細打合せ

●シンポジウムや対談などのイベントの場合は、おおまかなシナリオが必要。どのゲストに何を期待して依頼したのかを伝えつつ、全体の内容を詰め、主催者もゲストも皆がイベント内容や進行を同じイメージで思い描くことができるように構成する。
●イベント当日、ゲストに早めに会場入りを依頼する。最終打合せを行いたい場合には、2ヵ月前くらいまでには交渉し了解を得ておく。

スタッフ会議

●イベント前日やイベント当日、終了後に、どのような作業が必要になるか把握する。
●誰が、いつ、出席できるのかを確認する。
●当日に向けて必要になる前準備をいつ行うかなども相談する。また、全員が全体の流れを頭にに入れておく、もしものときに代理の人でも作業を行うことができる。

参加者名簿

●参加者名簿の作成。
●託児及び手話通訳者や要約筆記者の手配やその利用申込みの状況確認。

資料・配布物づくり

●当日に配布する資料などの印刷や準備。

会場の確認

●使用する準備機器が会場に借りられるかなどの最終確認。

ゲストへの最終確認

●ゲストや講師は多忙な場合、3日前～当日では連絡が取りにくい場合があるので注意。

荷造り

●会場に必要な物品の荷造り。(複数人で行うと忘れ物が無くなりやすい)

受付

司会

会場管理

記録

会場設営

●参加者の動線をイメージしながら進める。
●スタッフ全員による、簡単なミーティングをする。

荷物搬出

会場撤収

●来たときよりも美しく。会場撤収はバタバタになりがち。忘れ物がないかチェックする。

交流会

●今後につながる振り返りミーティングをする。
●本番のことについて、「感動・気づき」などをシェアする。

アンケート回収 (集計、分析、評価) お礼 報告書・決算書

●アンケートの解析と第三者も含めた事業評価をする。ここがきちんとできれば、次につながりやすい。

次の企画へ

「稼げるNPOが石川を変える～ちゃんと稼ぐNPOになって、石川で”志金”を循環させよう～」

2011年12月10日(土)、「稼げるNPOが石川を変える～ちゃんと稼ぐNPOになって、石川で”志金”を循環させよう～」と題したセミナーが石川県文教会館(金沢市)において開催されました。

このセミナーは、「新しい公共」として、官だけでなく、市民、NPO、企業などが積極的に公共的な財・サービスの提供主体となり、身近な分野において、共助の精神で活動する「新しい公共」の推進を目指す「石川県民間非営利団体活動支援事業(新しい公共支援事業)」の一環として実施され、石川県から私たち「ピースバンクいしかわ」が事業実施の委託を受けて企画運営を行い、石川県内の市民、NPO、金融機関が相互に協力・連携をしながら、石川県での新しい公共を支える資金循環を「融資」の側面から学ぶセミナーとして企画しました。

今回はこのセミナーの様態を誌上レポートしたいと思います。

第1部「NPOの融資“志金”活用セミナー」から



▲ 木村氏の講演

セミナーの第1部では、東海地区でNPOや社会企業への融資や助成を通じた支援経験を数多く持つNPOバンク、コミュニティ・ユース・バンクmomo代表の木村真樹氏からお話を伺いました。

木村氏はNPOバンクを、「市民やNPO、企業といったところから出資金を集め、都道府県知事への貸金業登録の認可のもと、NPOやコミュニティ・ビジネス、社会性のある事業へと融資をし、これをNPOバンクが仲介しながら返済をしてもらうことで、お金を通して出資者と融資先がつながり続けるしくみ」と説明し、1994年に設立された未来バンク(東京)を皮切りに、全国で13のNPOバンクが設立されていることを紹介されました。私たちピースバンクいしかわも2010年に全国13番目に設立されたNPOバンクと紹介いただきました。

このようなNPOバンクの活動は、「金融NPO」「コミュニティ・ファンド」とも呼ばれる取り組みで、2005年に設立された東海地方で初めてのNPOバンクであるmomoでは、出資者が472名、出資総額が4,727万円、設立以来の融資総額6,301万円で28件(2011年11月25日現在)となっており、貸し倒れもなく運営してきているとのことでした。

また、融資にあたっては、事前相談に始まり、業界分析、面談、訪問調査、最終審査を経て実施しており、この間に、担当理事が融資相談のあった案件の担当者を「伴走」する「ハンズオン支援」が大切である、とのことでした。ハンズオン支援では、単に融資した資金が返済できるかどうかではなく、momoの出資者にとっても、共感や応援しがいのある事業であるポイントを団体から引き出し、融資実行後も、融資先の活動訪問ツアーや融資先の農産物などを購入するなどして出資者が応援する様子が紹介され、「momoが融資しているのはお金が本質なのではなく、出資者の皆さんがその活動を応援しようというボランティア的な時間や知恵や労力の提供なのだ」という言葉は印象的でした。

momoの融資審査における審査項目では、組織面、事業面、財務面でのチェックをするとのこと、組織面ではNPO団体の「現在」の評価として、団体の理念や経営者の資質・経歴、スタッフ・ボランティア、組織の責任体制、法令遵守・法的リスクといった側面を、事業面では「未来」への評価として、事業に関する知識・経験・情報、資金需要と用途、ソーシャル・キャピタル(社会的関係資本)、製品やサービス、マーケティング力といった側面を、さらに財務面では「過去」への評価として、財政状態、収支計画、会計業務、返済計画、連帯保証人といった側面を見ているとの紹介がありました。

事例紹介では東海3県で活動するさまざまなNPO、コミュニティ・ビジネスへの融資事例として、融資とともに、momoのボランティアスタッフである「momoレンジャー」がさまざまなアイデアで融資先と出資者をつなぎながらハンズオン支援をし、NPOの活動を社会に開いていく様子、様々な方が関わるができるようにするお手伝いをしていることが紹介されました。

NPOやコミュニティ・ビジネスなどの草の根の社会企業が行う活動の事業レベルには、①想い醸成期、②共同学習期、③社会実験期、④事業展開期があり、時間とともに事業レベルが向上しながら、成長の課程で、地域や多くの関係者を巻き込んでいく傾向があること、そして、必要な経営資源を自分たちで集められるようになるお手伝いをすることが、最終的なNPOバンクの役割であることを紹介されました。このプロセスをあたかも「借り物競走」とでも言うべき段階と位置づけられ、社会の中のさまざまな構成員から時間や知恵、労力、そして資金を借りながら、全体として一緒に「社会を変えていく」プレイヤーになっていく必要があることを教えてくださいました。

第2部 NPO融資制度説明会

第2部では県内の金融機関の方々によるNPO向けの融資制度の説明会として、石川県内の金融機関から、北陸労働金庫(北陸ろうきん)と北國銀行の担当者から説明がありました(この他、後日開催された能登会場では、のど共栄信用金庫、興能信用金庫の担当者からも説明をいただきました)。

北陸ろうきんからは「NPO事業サポートローン制度」という、北陸3県の活動実績が3年以上あるNPO法人向けの融資制度の紹介がありました。また併せて、北陸ろうきんとして実施されているNPO向けの助成金制度や、ろうきんの預金口座を活用した寄付システム制度、各種手数料免除制度の紹介もありました。

北國銀行からは、NPO法人向けの融資制度は特別なものの、それぞれの案件に対して融資を組んでいるという紹介があり、



▲ 金融機関からの制度説明

事例としては、県内のとあるスポーツクラブを運営するNPO法人が練習用の専用グラウンドを探しているという相談を受け、一方で、銀行としての取引先であった某菓子製造メーカーの社会貢献活動の一環でグラウンド整備の案件の相談に乗り、これらを結びつけることでNPOと企業のWin-Win関係づくりのお手伝いをしたことを紹介され、銀行の持つ企業ネットワークをNPOが活用するために、融資相談は勿論のこと、事業展開の相談として銀行を活用してほしい、との熱いメッセージをいただきました。またNPOとして「日本語でわかりやすく一言で言う」と何をしたいのか、それを教えてくれれば相談に乗りやすい」との具体的なアドバイスもいただきました。

第3部「NPOのロマンとソロバン力向上ワークショップ」

第3部では、社会的起業をめざす人たちの事業プランを聞きながら、参加者同士が感想を述べたり、どんな形で協力していけるのか等々を話し合うワークショップを行いました。その事業に融資をする銀行家と、事業を推進する立場に分けて意見交換をし、最後に全体でシェアをした後に、それぞれの金融機関担当者、momoの木村氏からもコメントをいただくという流れでした。



▲ 事業プラン発表者 左:河上さん 右:NPO法人LOOOP松尾さん

事業プラン発表の1人目は、金沢市内で買い物困難な高齢者向けの野菜の宅配事業をしたいというNPO法人LOOOPの松尾さんからの発表。事業プラン発表後の会場からの質問では、宅配事業として生協や他の事業者との競合はどうか?届けられる野菜の安心をどう担保するのか?高齢者の利用者数がどれくらいになるのかマーケティング調査はできているのか?といった質問があり、金融機関の方からも事業計画としての100名利用者登録をどうつくるつもりなのか、見込み利用者がどの地域にどれくらいいるのかの把握ができているのか、といった質問が出ました。松尾さんからは自身の経営するデザイン事務所でのチラシポスティング実績や野菜の集配システムについての補足説明がありました。

事業プラン発表の2人目は、金沢市内でネット環境を完備した共同の仕事場としてのコワーキング・スペース開設を準備している河上さんからの発表。行政が設置しているインキュベーション施設との違いは?利用料金の設定はどうなっているのか?といった質問や、この事業によって地域や社会がどのようによくなっていくのか?といった質問がありました。河上さんからは石川で若者が起業したい、自分の足りない部分を誰かに手伝って欲しいというときにコラボレーションできるスペースとしてのコワーキングの考え方の提案や、自身の企業のM&Aコンサルティングの経験から、どういったポイントがあればコラボレーションが生まれるかのアドバイスが可能との回答がありました。

質問の後はグループワーク。小グループで、お金の流れと地域のつながりについて、どうすればこの事業が成功するのか、皆さん真剣に話し合っていました。参加した皆さんの意見はポストイット・カードに記入して全体でシェアした後、本人さんたちにプレゼントされました。

「社会貢献性はこうしたらもっと出るのではないかな?」「一人でやるよりも仲間を募った方がいい」などの意見が飛び出し、金融機関の方からも「うーん、するどい!」という声が出ました。単に融資をするだけでなく、その事業の応援団になる。ピースバンクいしかわの目指す「顔の見えるつながり」と擬似的な「借り物競走」を実感しながら、他の人の事業プランを見ることで、事業計画書や収支計画書のつくり方、読み方を学んだ一日となりました。

最後に木村氏からまとめとして、NPOは「借り物競走」を通じて社会のさまざまな構成員である市民や他のNPO、企業、行政機関と関係性をつくっていき、それぞれの構成員に対して「こういう点でお手伝いできます」、「こうやって協力すれば互いに共通の課題が解決できます」という視点を打ち出しながら共通の利益を、社会全体の課題解決に転換していくことを述べていただき、閉会となりました。



▲ グループワークのようす

セミナーを終えて ピースバンクから石川の「志金」循環づくりへ

今回のセミナーを通じて、参加いただいた石川県の市民の皆さんとともに社会を構成するさまざまなプレイヤーと協業していくNPOバンクの先達の事例を学び、石川県内の金融機関で事業支援をされている専門家や石川で社会性ある事業の起業家とのネットワークづくりのきっかけをつくることができました。

ピースバンクいしかわは、まだ設立間もないNPOバンクですが、現在、出資者143名、出資金も約742万円となり、融資総額は一般融資、つなぎ融資あわせて515万円、5件(2011年12月末現在)となっています。県内のNPO法人向けのつなぎ融資や、社会性ある事業にチャレンジする起業家への支援をしています。

目標とする石川の皆さんひとりひとりからの1ピースを持ち寄って1000ピース、1000万円の出資金にはまだまだ途上ですが、今回のセミナーで得た経験、さまざまなプレイヤーさんたちとのネットワークを生かしながら、より市民や社会に対して開かれたNPO活動を融資の側面から支援し、将来は専門家やボランティアスタッフとの協働によりハンズオン支援もしていけるようなNPOバンクとして成長していきたいと考えています。

石川のNPO活動や社会性のある事業を出資によるお金で応援したい、自分の持つ専門的なスキルをNPO活動の支援で生かしたい、そんな皆さんの協力を、ピースバンクいしかわでは募っています。融資を受けたいという方からの「まずは相談」も歓迎しています。

皆さんの志をお金に乗せて、ピースバンクいしかわを通じて石川の持続可能な地域社会づくりに活用していきませんか?

融資制度の条件や出資の手続きなど、詳細はピースバンクいしかわのWebページから参照ください。

ウェブページ: <http://piecebank.net/>

みえるつながり

ピースバンク
いしかわ

私たち、こんな活動やってます

チームリアルこまつ

〈連絡先〉
代表者 舟津 秀一郎
TEL 090-1310-9259
FAX 076-287-6521
Eメール npo.trk@gmail.com
URL http://ameblo.jp/npo-trk/

NPO金沢マチナカ大学 タデマチ大学

〈連絡先〉
タデマチ大学 運営事務局 株式会社ヴォイス
Eメール info@tatemachidaigaku.jp
URL http://brandvoice.jp
FAX 076-254-0252
担当窓口 米山

面白いことして、小松を元気に!

「小松市には面白い地域資源がたくさんある。これをうまく活用すれば、小松はもっと楽しいマチになるんじゃないか」—『コマツ』や『大和』が撤退し、意気消沈ムードが漂いつつあったときに、「なんか面白いことして、小松を元気にしよう」との思いが集まって結成されたのが『チームリアルこまつ』です。

発足は昨年(2010年)の7月。この1年と5ヶ月の間に、9つの自主イベントを開催しました。



▲花坂九谷原石山を見学

資源を生かした体験型ツアー

小松市は国内外からのアクセスが良いところです。空港があり、JRの駅があり、高速道路のインターチェンジもあります。そして、市街地からクルマで10分ほど走れば、海や里山に行ける「便利な田舎」です。

私たちは、この小松の個性を見直し、地域資源となり得るヒト・モノ・コト・バショを再発見し、収集・バンク化を進めています。そしてその資源を活用し、豊かな地域社会の継続を目指します。

そのために、歴史や産業、生業を活かしたストーリー性のあるイベントを企画・実施して、交流人口を拡大中。ゆくゆくは滞在型のツアー等を実施し、最終的には定住人口を増やしたいと考えています。



▲滝ヶ原町で石彫り体験



▲東京から「湯けむり女子」を迎えて



▲9月23日実施「九谷の花をさかせよう」TRK高松



▲昨年の縁結び企画、今後もやります!

リアルな心の充実を

便利があふれ、バーチャル化した現代社会。でも本当に大切なものは、リアルな体験や人との交流の中にこそあると思います。私たちの活動を通して、小松が「居心地の良い場所」になってほしい。そして、訪れた人たちにリアルな心の充実を感じていただきたいと願っています。

「タデマチ大学」とは?

「タデマチ大学」は学校で学べないことを学ぶための教室です。授業は誰でも受けられ、参加は無料。

先生は金沢のまちで活躍する企業の社長さんから人気ショップの店長さん、そして世界で活躍する作家さんまで。年齢・ジャンル問わず、なにかに夢中になって人生を愉しんでいる人がタデマチ大学の先生です。「タデマチ大学」はマチナカの市民のみなさんが集まれるコミュニティづくりのための活動を行います。イベントや部活動を通していろいろな人が街を訪れるきっかけづくりができればいいと思います。そうやって人が集うことで金沢中心商店街の活性化の一助になればと考えています。

「タデマチ大学」の授業

タデマチ大学はさまざまなジャンルの先生をお呼びし、コーディネーターとのフリートークでの講義を行っています。各先生の専門的なお話を誰でもわかりやすく楽しめるよう、テーマによってはワークショップ形式で進めることもあります。毎回気づきを得られる90分になること間違いなしです。



▲福島 郁子 先生 (中谷宇吉郎雪の科学館/学芸員・サイエンスコミュニケーター) 「196℃先生! パナナで釘は打てるけど新聞紙じゃ打てないのはなぜ?」



▲広瀬 由利子 先生 (水引作家) 「水引先生! なんと、日常のアレコレも水引で作っちゃうんですか?」

プロジェクトピックアップ タデマチ文庫&こまつ町家文庫

「読まなくなった本」と「読みたい本」を交換できる「本の交換所」をタデマチ大学内と小松の町家につくりました。あいことばは「石川県民みんなで本をシェアしよう!」2011年は1日限定の出張図書館を珠洲と山代温泉で開催しました。タデマチ文庫は期間限定でのプロジェクトでしたが、こまつ町家文庫は小松市民の憩いの場として愛されつづけています。



▲本の交換はポイント計算で交換



▲こまつ町家文庫
(※2011年12月現在こまつ町家文庫のみ)

授業ピックアップ 秋元雄史のまちなか対談シリーズ

タデマチ大学の定番となった人気シリーズ。金沢21世紀美術館の秋元館長がコーディネーター役をつとめていただきます。秋元館長が気になっている地元で活躍する各分野で活躍される方と対談形式で授業をくりひろげます。



▲金沢大地・井村辰二郎さん「オーガニック先生! つまり農業が日本の救世主になるってコト?」



▲センド代表・宮田司さん「ITクリエイター! 2020年、僕らの未来の働き方って?」

「タデマチ大学」の部活動

タデマチ大学には授業とは別に「部活動」という名の学びの機会を用意しています。ヨガやピラティスなどを定期的に開催していますので、ひとつのことを継続的に学びたい方にピッタリですね。今後は英会話などにもチャレンジしていく予定です。ふるってご参加ください。

- ・ピラティス部 (毎週月曜開催)
- ・ヨガ部 (第3日曜開催)
- ・コンテンポラリーダンスとからだであそぶ部 (隔週火曜開催)

校舎の紹介

タデマチ大学の校舎は築90年の古民家の2階。ゆったりとした時間が流れる空間でいろんな学びを体験してください。1階はカフェになっていますので、授業前にゆっくりくつろいでいただいたり、授業後の懇親会場としても利用しています。

NPO法人北陸ライフケアクラスター研究会 『生活の質“Quality of Life”の向上』

地域新産業の創生

北陸ライフケアクラスター研究会は、ライフサイエンス分野における産学官の交流、連携を促進し、補完代替医療を視野にいたし、バイオテクノロジーに関する研究開発を推進し、新しい産業を創造していくために必要な事業を行うことにより、科学技術の振興と地域経済の活性化ならびに広くライフサイエンス産業の発展を考える団体です。

まだ任意団体だったころは、産学官連携で医薬品などの研究はされていましたが、身近な物の研究はされていなかったし、補助もあまりされていませんでした。そんな中、「ライフケア」生活の質、人生の質の向上を目指すことを目的として設立されました。

健康だけでなく、快適に生活できる、そういったものを産学官連携で、特に科学的に裏付をもった製品の開発を支援していきたいと考えています。

産学官のネットワークを活かした支援

主な活動内容としてはセミナーを開催しています。そのセミナーでは講演を聞くだけでなく、参加していただいた企業さんに企業紹介を兼ねて研究開発の発表をしていただいています。

その後、交流会を行い企業さん同士の交流を深めています。

海外との交流もあり。主にフランスの企業が意欲的で、食品や製薬といったバイオ企業がおよそ800社参加しています。海外からの売り込みだけではなく、日本からの進出や共同研究開発のオファーが来ています。そこで、日本から海外、海外から日本に目を向けている企業をお互いに紹介し、交流を深める活動も行っています。しかし、海外とのやり取りは難しく、距離があることや言語、ニュアンスの違いなどが壁になり、難航しています。

今後の新しい試みとしては、来年の2月に開催するセミナーの後に、新たに商談会を行う予定です。

セミナーはもちろん、商談会で出会った企業さん同士が、つながりを持つきっかけになり、新たな製品の開発や研究が広く行われることを期待しています。

セミナーは会員に限らずオープンで行っていますので是非ご参加ください。

科学的裏付けに基づく評価システム

そのほかにはHLC認定の発行を行っています。HLC認定というのは、産学連携品を対象に機能性食品や健康食品を科学的に裏付けされているか、いないかの差別化を図り、第三者機関によって評価を行うことでマークを付ける。それがHLC認定マークです。マークには星が1〜3つ表示されていて、星が多いほど裏付けデータの品質が良いものとなっています。



- ★ 安全性のみが示されている場合
- ★★ 安全性と有効性が示されている場合
- ★★★ 安全性と有効性を示すエビデンスが特に高い基準に達していると判断される場合

そして、産学連携品電子図書館です。よく製薬企業さんなどから耳にすることがあるのですが、研究開発を行なうと研究データが出ます。しかし公開する場がない。学会などで発表することはあるのですが、もっと一般の人でも見られるような発表の場を作りたいという思いがあり、産学連携品電子図書館を作りました。

産学連携で開発した食品、化粧品分野をはじめとしたこれらのものについての詳細な製品情報や研究データをインターネット上で見ることができます。

企業さんや研究者さんはもちろんたくさんの方達に活用していただきたいと思っています。



▲産学連携品電子図書館構築の中心となった鈴木信孝副理事長

NPO法人 北陸ライフケアクラスター研究会事務局

〒923-1211

石川県能美市旭台2-13 いしかわクリエイトラボ106

TEL/FAX 0761-51-7210

URL <http://www.h-lifecare.net/>

「教えて、i-ねっこのあおみさん」

いしかわ市民活動ネットワークセンター 理事・事務局長 青海 康男



Question



法人の設立を準備中です。私どもは関係者がとても多く、なるべく多くの方々に責任を持っていただきたいと思います、理事23名を選任の予定です。定款には、「理事長及び副理事長は、理事の互選とする。」「理事長は、この法人を代表し、その業務を総理する。」と定めています。この場合、理事長のみを登記すれば良いのでしょうか？

Answer



なるほど。NPO法人の場合は、理事全員が法人の代表権を持っていますので、「理事長のみが法人を代表すること（他の理事の代表権の制限）」の規定を定款に置いたとしても、当該制限は善意の第三者に対抗できないため、すべての理事を「代表権を有する者」として登記しなければなりません。（法第16条）

この「善意の第三者に対抗できないため」というのはですね、日常語の善意は、善良な心というような意味で使いますが、法律用語としての善意とは、「ある事情について知らない」という意味で使われるんです。ですから「善意の第三者」とは、ある事柄について事情を知らない第三者ということです。

つまり、NPO法人が、定款で「理事長が、この法人を代表する」旨の定めをすることによって、他の理事の代表権を制限したとしても、それはあくまで法人内部での取決めでしかなく、この法人と取引をする世間一般の人（善意の第三者）には、他の理事が代表権を制限されている事情を知らないのです、このことを主張することができませんね。

実はですね、平成24年4月から、改正されたNPO法が施行されます。その中に「**理事の代表権に加えた制限は、善意の第三者に対抗することができない。**」との規定を削除する。とあるんです。

ここが削除されるとどうなるかと言えば「定款により理事の代表権を制限した場合、その旨を登記できるようにする」ことになって「代表権を制限された理事については、登記不要となる」となることが予想されます。これは大変大きな改正ですね。おそらくは、これまでの定款の「第4章役員及び職員」の中の（職務）に書かれる「理事長は、この法人を代表し、その業務を総理する。」の規定があれば、理事長のみが登記が可能になるのではないのでしょうか。

なにしろこの運用は平成24年4月からですから、所轄、法務局、司法書士など、関係する機関の認証・登記にどのように反映されるか注目して行きたいものです。もし、「理事全員の責任体制」で法人を作りたかったら申請時期は問いませんが、「理事長だけに責任を持たせたい」なら改正NPO法施行後の申請が良さそうですね。

INFORMATION

収益事業を行っていないNPO法人は「法人住民税(均等割)」が減免されます!

NPO法人から税理士さんへ、「NPO法人は全く収益事業をやっていないのに税金はかかるのですか?」という質問をされることがあります。実は、**会社や法人は原則として存在するだけで、法人住民税(均等割)**という種類の税金がかかります。

ただし、全く収益を得る活動を行っていない、寄附金や会費のみで運営しているNPO法人については税の優遇措置として、自治体において、「**法人税法で定めている34業種の収益事業を行っていないNPO法人は、申請をすれば、法人住民税(均等割)を免除しよう**」と規定している場合があります。

<法人住民税(均等割)とは>

法人は、所得が有る無しに関わらず、原則として住民税の均等割額を支払わなければなりません。しかし、特定非営利活動法人の場合は、法人税法で掲げる収益事業(下記)を行っていない場合には、自治体(県及び市町)の条例で住民税の均等割が減免される場合があります。ちなみに、石川県及び県内市町においては、全ての自治体で減免申請の受付を行っています。

<法人住民税(均等割)の減免申請の方法について>

特定非営利活動法人の事務所が複数の自治体にある場合は、それぞれに申請が必要です。各自治体の条例に定める手続が必要なので、各自治体の税務担当窓口にお問い合わせください。

<申請する場合の注意事項>

- ・申請期限は各自治体で異なり、提出日に1日でも遅れると減免してもらえない。
- ・申請書のほか、定款などの添付書類が必要。

法人県民税減免申請書の様式(石川県の場合)

(別記様式第1号) 提出期限: 平成 年 月 日

法人県民税減免申請書

平成 年 月 日

石川県金沢市税務所長 殿

法人の所在地 _____

法人の名称 _____

代表者の住所 _____

代表者の氏名 _____ 印 _____

石川県条例第54条第2項の規定に基づき法人県民税の減免を申請します。

均等割額の算定期間	税 額	納 期 限
平成 年 月 日から	円	平成 年 月 日
平成 年 月 日まで		

1 減免を受けようとする理由 _____

2 添付書類 _____

(注) 代表者本人が自署する場合は、押印を省略することができます。

法人税法の34業種

- | | | | | |
|---------|------|---------------|--------|-----------|
| ①物品販売業 | ⑧運送業 | ⑮旅館業 | ⑳土石採取業 | ㉓医療保健業 |
| ②不動産販売業 | ⑨倉庫業 | ⑯料理店業その他の飲食店業 | ㉑浴場業 | ㉔芸芸教授業 |
| ③金銭貸付業 | ⑩請負業 | ⑰周旋業 | ㉒理容業 | ㉕駐車場業 |
| ④物品貸付業 | ⑪印刷業 | ⑱代理業 | ㉓美容業 | ㉖信用保証業 |
| ⑤不動産貸付業 | ⑫出版業 | ⑲仲立業 | ㉔興行業 | ㉗無体財産権提供業 |
| ⑥製造業 | ⑬写真業 | ㉑問屋業 | ㉕遊技所業 | ㉘労働者派遣業 |
| ⑦通信業 | ⑭席貸業 | ㉒鉱業 | ㉖遊覧所業 | |

助成金ニュース

石川県NPO運営能力向上支援事業 (専門家の個別指導補助金)

NPOが会計・税務等の専門アドバイザーによる実地指導を受ける場合に、その費用を助成します。

●補助金の趣旨

県内の市民活動団体、ボランティア団体又はNPO法人が組織を運営していくためには、会計・税務などの専門知識が必要です。アドバイザーから組織の運営に関する専門的な実施指導を受ける費用を助成し、運営能力の向上や課題解決を図ります。

●補助対象者

市民活動団体、ボランティア団体、NPO法人

●補助対象経費

アドバイザーの謝金及び交通費

●補助金額

実際の経費または別に定める基準額のいずれか少ない金額の3分の2で、上限2万円(同一事業年度内において、1団体1回限りとします。)

●申請方法

実地指導を受ける2週間前までに申請してください。必要書類は、交付申請書、補助事業計画書・収支予算書、定款(会則)です。

お問い合わせ
お申し込み

石川県NPO活動支援センター
〒920-0961
金沢市香林坊2-4-30 香林坊ラモーダ 7階
TEL 076-223-9558 FAX 076-223-9559
URL <http://www.ishikawa-npo.jp>

ボランティアに関する講習会等助成事業

●助成対象事業

- 下記の要件を満たすボランティアに関する講習会等
- ・県内のボランティアグループ等が主催するもの
- ・ボランティア精神の普及や団体等におけるボランティア活動の充実、発展に寄与するもの
- ・10人以上の参加者が見込まれるもの
- ・参加者から参加費を徴収しないもの。また、徴収金額が必要最小限と認められるもの
- ・政治活動や宗教活動を目的としないもの
- ・不当な参加資格を設けていないもの

●助成対象経費

講習会等において指導等を行う外部講師(団体の構成員等ではないということです。)の謝金及び交通費

●助成金額

講師謝金については原則として石川県の予算単価に準じた額、交通費については実費相当額とし、助成金の総額は5万円以内(同一事業年度内において、1団体1回限りとします。)

●申請方法

所定の申請書に必要書類を添付し、提出してください。
※申請の際は、必ず事前相談を行うこと。

お問い合わせ
お申し込み

(財)石川県県民ボランティアセンター
〒920-0961
金沢市香林坊2-4-30 香林坊ラモーダ 7階
TEL 076-223-9558 FAX 076-223-9559
URL <http://www.ishikawa-npo.jp/volunteer>

「NPO会計等の専門相談窓口」を開設しています!

NPOの会計・税務について相談できます。労務・登記についてはご予約いただければ対応させていただきます。

会場/石川県NPO活動支援センター「あいむ」

金沢市香林坊2-4-30 香林坊ラモーダ7階 TEL 076-223-9558
毎月第1・第3水曜日 18:00~21:00

詳しくは(特)いしかわ市民活動ネットワークセンター 076-232-6673 まで

無 料

予約優先

開催日 1/5 1/18 2/8 2/22 3/7 3/21

担当・税理士 山内 司

本誌に関するご意見、ご要望をお寄せください。
石川県NPO活動支援センター「あいむ」

〒920-0961 金沢市香林坊2-4-30 香林坊ラモーダ7階
TEL 076-223-9558 FAX 076-223-9559

URL <http://www.ishikawa-npo.jp>
E-mail npo@pref.ishikawa.lg.jp

『あいむ』の会議室、作業室のご利用について

- <会議室>
●申込方法/利用申込書に必要事項を記入のうえ事務局へ提出してください。(来訪、FAX、電子メール、郵便)
※電話による申し込みはできません。
●申込開始/利用しようとする3ヶ月前(休館日と重なった場合は、その翌日)
※各団体の利用限度回数は、週1回です。
<作業室>
●申込開始/利用しようとする3ヶ月前(休館日と重なった場合は、その翌日)



このコーナー『人』では、石川県内でボランティア活動、NPO活動に参加し、活躍している皆さんに焦点を当て、インタビューします。

第3回の今回は、成年後見制度に関する情報提供や相談、成年後見制度支援などの活動、高齢者への買い物支援サービスを行っている「OASIS(オアシス)」理事長の東谷 康代さんにお話をうかがいました。

——活動されている団体について教えてください。

東谷さん●NPO法人オアシスはお片づけができないなどの悩みを持つ高齢者のお世話から始まり、身寄りのない高齢者の成年後見を引き受けています。

成年後見制度というものを皆さんご存知ないことが多いので、金沢市と東大のバックアップで成年後見基礎講座というのをやりました。受講された方に会員さんになっていただき、お互いに情報交換し合いながら、いい方向性を探ることを会の趣旨にして活動しています。

お買い物応援隊の活動は、高齢者の見守り活動を通して「コンビニボックス」という、利用者に食品や衛生品などが入った箱を預けておき、後日、使用した分だけ清算していただく支援サービスやお買い物の代行サービスなど生活全般に関わるサービスを行っています。



——活動に興味を持ったきっかけを教えてください。

東谷さん●お片づけが好きなんです。やっていると、案外人に喜ばれるんです。嬉しくて何軒もやっているうちに、お片づけをできない人には悩みをたくさん抱えているケースがあることに気がついたんです。カウンセリングのようなことまで入ってきて、これってすごいなあ…と思ったのがきっかけです。

——これまでの活動の中で印象に残っていることは？

東谷さん●今、後見しているおじいさんなんですけど、認知症なんですね。それがよくなってるんです。

認知症を測るチェックで成績がちょっとずつ上がってきていて、こうゆうこともあるんだなと思いました。

お世話しているスタッフが通り一遍でなく、まるで自分がそのおじいさんの孫かのように接してくれているからではないでしょうか。

みんなで大感動しました。いいスタッフに恵まれて、いい見守りができていると私は思っています。

皆さんに感謝しています。



——今後の課題や目標は？

東谷さん●成年後見を考える方々と一緒に、不備な点や実際どうしたらいいのかを一緒に考えながら、情報交換などを交えることで、苦しみだけではなく、希望もあることを知っていただくことが目標です。

——東谷さんにとってNPO活動とは？

東谷さん●恋人です。大変ですけど、楽しい日々です。

東谷 康代さん

【お問い合わせ】
NPO法人 OASIS(オアシス)
〒920-0373
金沢市みどり2丁目6-5
TEL 076-249-0061
URL <http://oasis.kitemi.net/>

